

NPOへの寄附の促進について

NPOへの寄附の促進に向け、県及びNPOをはじめとする民間において、どのような取組が有効か、各委員からご意見をいただきたい。

1 寄附が集まらない理由（仮定）

寄附する側	寄附される側（NPO）
<ul style="list-style-type: none"> どこに寄附してよいかわからない。 NPOの活動内容がわからない。 寄附を頼まれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄附集めまで手が回らない 寄附を集める気がない。

2 NPOへの寄附促進のための取組み

(1) 県の取組み

① 寄附税制の整備

事業名	内容
県指定NPO法人制度の創設	寄附金税額控除の対象となるNPO法人を条例で個別に指定する制度。県が指定したNPO法人への寄附金は4%の税額控除

② 新しい公共支援事業での支援（H23～H24年度）

(ア) 寄附促進に向けたNPO認知度向上事業

事業名	内容
各種メディアを活用した広報活動	・新聞や鉄道を活用した広報活動やFMラジオによるNPOの活動紹介番組の放送 等
双方向Webサイトの構築・運営	県が委託したNPO法人がWebサイトを構築し、運営。取材によりNPOの活動について情報等を提供。
「新NPO法人制度」普及プロジェクト	県が委託したNPO法人が、制度活用助言者の養成や制度普及パンフレット作成を作成
寄附の仕組みの充実	県が委託したNPO法人がファンドの設立や運営を試行し、その試みを通じて、市民ファンドの設立や運営に役立つ情報を収集、普及
次世代に寄附への理解を広げる学習プログラムの開発・普及	県が委託した公益財団法人が、主に小中学校の社会貢献活動を促進するプログラムを開発し、普及。地域社会の課題の掘り起こしと募金活動、寄附先選定、ボランティア活動を内包。
NPOへの寄付定着を促すプログラムの実施	<p>県が委託したNPO法人が次の事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイターがNPOの「情報発信」をデザインすることを通じて、NPOから市民への新たな広報手法を開拓し、寄附文化醸成につなげるためのチャリティーアクションコンテストを実施。 ・寄付の成果を伝えるため、神奈川県内の多様な寄付の事例を紹介する連続講座を開催

(イ)活動基盤強化プログラム

事業名	内容
Vision Mission作成 応援プログラム	活動の基本となる中長期的な活動計画の策定について、研修や専門家の派遣により個別指導
財務会計体質改善プログラム	NPO法人会計等の基本を理解するための研修を実施した上で、専門家(会計士)の派遣により各団体の財務体質の改善について指導
発信力強化プログラム	活動内容をわかりやすく市民に発信するためのスキルの基本を学ぶ研修と、専門家の派遣による団体の実情に応じた発信力強化策の指導

③ かながわボランティア活動推進基金 21 への寄附受入れ

(2) 民間での取組み (例)

① 市民ファンド

名称	運営主体	特徴
神奈川子ども未来ファンド	NPO法人 神奈川子ども 未来ファンド	・集めた寄付・募金を、子どもや若者、子育てに関わるNPOに助成する。
京都地域創造基金 「事業指定助成プログラム」	公益財団法人 京都地域創造 基金	・審査を通過したNPO等が、寄付を募る事業を明示して寄付を募る。 ・寄付の状況は公開、報告書の提出義務付け

② クラウドファンディング

名称	運営主体	特徴
READYFOR? ・2011年3月開始	オーマ株式会社 (ネットにおける情報サービスの事業者)	・支援するプロジェクトからのリターン(金銭でないプロジェクトの成果が多い)を得るための権利(引換券)を購入。プロジェクトは営利・非営利を問わない。 ・期間内に目標額の支援金が集まらない場合、支援金は支援者に全額返還される(All or Nothing)。
CAMPFIRE ・2011年6月開始	株式会社ハイパー インターネット (Webサービス企画・運営の事業者)	・形態は“READYFOR?”と同様 ・音楽や映像などのクリエイターに対する支援が主な目的で、支援者をパトロンと呼ぶ。

③ クリック募金ほか

名称	運営主体	特徴
イーココロ!	ユナイテッドピープル(株)	・プロジェクト支援 ・クリックするだけで1円募金(1日1回まで) ・無料で参加(寄附金はスポンサーが負担)
JustGiving	一般社団法人 ジャスト・ギビング・ ジャパン	・自分がチャレンジする姿をみせることによって、その姿に共感した人からお金を集め、自分が選んだ非営利団体に寄附する仕組み ・支援先は審査を通過した団体から選択